

「自己資本の充実の状況について＜持株レバレッジ比率に関する開示事項＞」

（レバレッジ比率の構成に関する事項）

「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号を指します。

【連結ベース】

（単位：百万円、％）

国際様式 (表2) の該当番号	国際様式 (表1) の該当番号	項目	2023年9月期
オン・バランス資産の額 (1)			
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	7,880,307
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	8,025,540
1b	2	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	—
1c	7	連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額 (△)	145,232
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額 (△)	55,487
3		オン・バランス資産の額 (イ)	7,824,820
デリバティブ取引等に関する額 (2)			
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	—
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	64,243
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	—
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	65,676
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	48,011
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	—
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	—
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額 (△)	—
8		清算会員である銀行又は銀行持株会社が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額 (△)	—
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	177,930
レポ取引等に関する額 (3)			
12		レポ取引等に関する資産の額	—
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	196
15		代理取引のエクスポージャーの額	—
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	196
オフ・バランス取引に関する額 (4)			
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	465,007
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	307,470
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	157,537
連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (5)			
20		資本の額 (ホ)	719,104
21	8	総エクスポージャーの額 ((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)) (ヘ)	8,160,485
22		連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ))	8.81
		適用する所要連結レバレッジ比率又は所要持株レバレッジ比率	3.00
		適用する所要連結レバレッジ・バッファ率又は所要持株レバレッジ・バッファ率	—
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率 (6)			
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	8,160,485
		日本銀行に対する預け金の額	763,227
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ´)	8,923,712
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率又は持株レバレッジ比率((ホ)/(ヘ´))	8.05

（前中間連結会計年度の持株レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因（当該差異がある場合に限る。））

該当ありません。